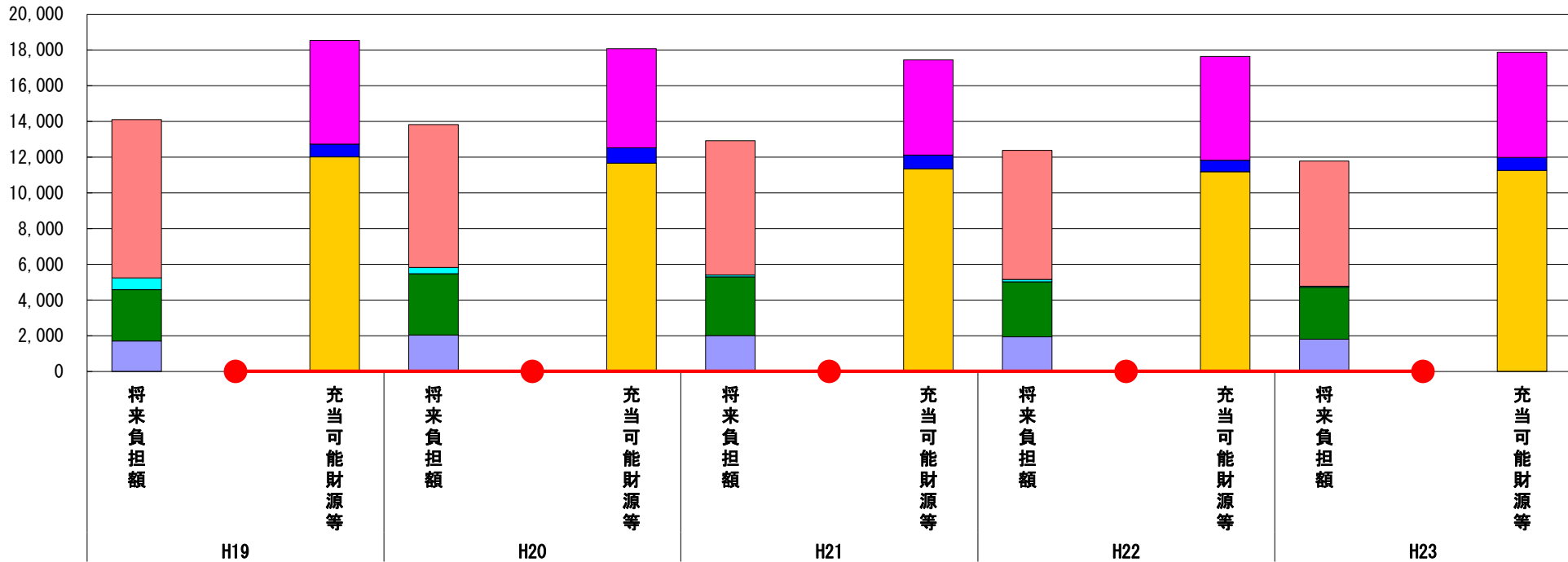


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

兵庫県猪名川町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		8,863	7,990	7,524	7,219	6,994
	債務負担行為に基づく支出予定額		657	356	105	134	57
	公営企業債等繰入見込額		2,866	3,431	3,273	3,078	2,909
	組合等負担等見込額		1,711	2,039	2,017	1,945	1,811
	退職手当負担見込額		-	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		4	4	5	3	2
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,809	5,548	5,322	5,811	5,882
	充当可能特定歳入		721	858	769	642	728
	基準財政需要額算入見込額		12,011	11,666	11,349	11,179	11,250
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 4,440	▲ 4,253	▲ 4,516	▲ 5,253	▲ 6,089

分析欄

将来負担比率については、地方債残高や水道事業会計、下水道事業会計の公営企業会計への繰出見込額、国崎クリーンセンターや丹波少年自然の家施設事務組合の一部事務組合への負担見込額11億7,218万3千円に比べ、将来の負担に備えた基金残高や将来交付される交付税へ算入される見込額などが178億6,093万9千円と将来負担額を60億円程度上回っているため、将来負担比率は△106.8%となりました。

前年度の△92.6%と比較して14.2ポイント改善されました。地方債残高が2億2,546万1千円の減少、公営企業債等繰入見込額が1億6,860万7千円の減少など、将来負担額合計が前年度より6億650万7千円減少したことが主な要因です。

将来負担比率が△106.8%となっているものの、過去に整備した大型公共施設の改修など経費の増加が今後見込まれるため、各財政指標を注視し、財政の健全な運営に努めます。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。